

# 逍遙館長のところ

「生き残りをかける、のところ」

10月1日 逍遙 

今月は、今日1日から、ここ黎明館と東大史料編纂所の共同プロジェクトとして、島津義弘没後四百年記念展「戦国島津」が始まります。テーマは、ズバリ「すべては生き残るため」。激動の乱世に生き残りを賭けた島津氏の知恵と戦術を、鹿児島を代表する戦国武将として全国的にも名高い島津義弘を中心に、2階の第2特別展示室で皆さんにご紹介させていただきます。

ところで、時代ははるかその後、幕末期の今月10月には、3日に土佐藩の山内容堂が大政奉還建白書を将軍・徳川慶喜に提出し、14日には、慶喜が朝廷に大政奉還を上表しました。一方、討幕派の大久保利通や岩倉具視らは9日に王政復古の意見書を朝廷に密奏、13、14日にはそれぞれ、薩摩、長州に対し討幕の勅命が下ったのです。

幕末の10月はまさに、それぞれの「生き残りをかけた」激しい駆け引きの始まりの月でもあったのです。さて、令和の今は？ 日本は？ 世界は？

◎次回の予定「体育の日は、城山メッツでウォーキング、のところ」

